

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ・フィエスタ

音楽 -タンゴ, 4/4拍子

テンポ -4拍子27小節/分, 108拍/分

パターン -セツト

助走例: 男女ともRFO (2), LFO (2), RFI (4). 女性は男性の左側に立つ。

このダンスはリバース・キリアン・ホールドで始める。ステップ10から11で、2人ともオープン・モホークを行うと、キリアン・ホールドになる。ステップ11から15はキリアン・ホールドで、ステップ16で2人がバックからフォアに踏み出すとリバース・キリアン・ホールドに戻り、ダンス・シーケンスをまた最初からくり返す。

ステップ9(LFO)を滑る際、男性の少し前に女性が出て、次のオープン・モホークで体がぶつからないようにする。

タンゴ・フィエスタでは、ゆったりとしたタンゴのリズムに乗ること、体をまっすぐに立てて膝を柔らかく動かし、流れるように滑ること、また、足をスムーズにスウィングすることが求められる。ステップ8では、とても心地よい表現ができる。まず、膝をしっかりと曲げて滑り始める。カウント3でフリー・レッグを前にスウィングし、続けて、カウント4の終わりに、フリー・レッグをフルスウィングしながらエッジを切り替える。こうすると、次の小節のカウント1でフリー・レッグが一番後ろに戻るようになる。このように、フリー・レッグをうまく使い、このダンスの特徴を際立たせることができるわけだが、どう使うにせよ、チェンジ・エッジのタイミングがダイアグラムに示されたとおりに注意しなければならない。

このダンスは、易しくもリズムカルな動きができるステップのシーケンスとなっているので、音楽をしっかりと解釈し、いかにもタンゴらしいスタイルで滑ることが求められる。

考案者 ジョージ・ミュラー

初演 1948年, コロラド・スプリングス

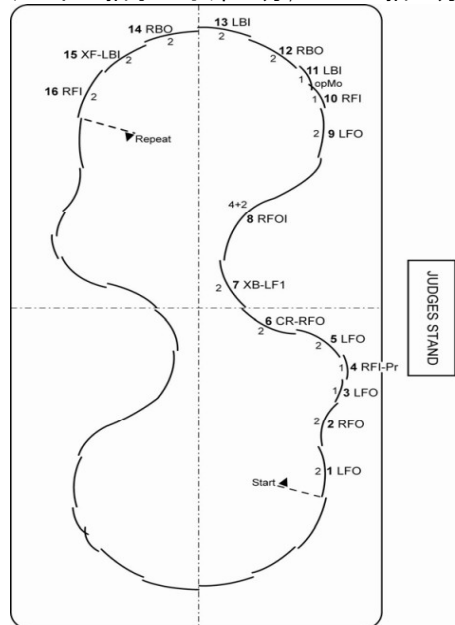
カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ・フィエスタ

音楽: タンゴ, 4/4拍子

テンポ: 4拍子27小節/分, 108±2拍/分



ホールド	番号	ステップ(男女同一)	音楽の拍数
リバース・キリアン	1	LFO	2
	2	RFO	2
	3	LFO	1
	4	RFI-Pr	1
	5	LFO	2
	6	CR-RFO	2
	7	XB-LFI	2
	8	RFOI	4+2
	9	LFO	2
	10	RFI	1
キリアン	11	LBI	1
	12	RBO	2
	13	LBI	2
	14	RBO	2
	15	XF-LBI	2
リバース・キリアン	16	RFI	2